

(別紙)

### 審査基準

下表の基準に従って審査委員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点（95点満点）とする。最終的に各審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案書が複数ある場合は、審査委員全員の多数決により順位を決定する。

なお、審査委員の1名以上が内容点の評価項目のうち評価点2点未満とした場合（項目④を除く）又は審査点が40点未満の場合は失格とする。

評価項目			評価の視点	配点
取組の実現性	経営状況 事業実績等	①	<ul style="list-style-type: none"><li>・会社規模、財務状況、想定スケジュール、業務実績などから業務の執行に支障はないか。</li><li>・本業務に関して類似実績を有し、本業務へのノウハウの活用が期待できるか。</li></ul>	5点（評価点）×2 = 10点
	業務推進体制	②	<ul style="list-style-type: none"><li>・実施体制が本業務を安定的に遂行できるものであるか。</li><li>・ワークショップ運営の専門技術（参加者へのプレゼンテーションやファシリテーションに係る技術など）を備えた人員の体制が確保できているか。</li></ul>	5点（評価点）×2 = 10点
企画提案内容	企画全体設計	③	<ul style="list-style-type: none"><li>・本業務の目的や趣旨を踏まえた全体像やコンセプトが提案されているか。</li></ul>	5点（評価点）×1 = 5点
	事業費	④	<ul style="list-style-type: none"><li>・総事業費は安価であるか。</li></ul> <p>5点×応募者中の最低価格／応募者の提案価格 ※小数点以下切り捨て</p>	5点（評価点）×1 = 5点
	運営について	⑤	<ul style="list-style-type: none"><li>・会場の確保や参加者への連絡など、ワークショップの円滑な運営に向けた準備行為を適切に行える見込みがあるか。</li><li>・ワークショップの全体構成は、効果的な結果が得られるような組み立てとなっているか。</li><li>・「地域」、「職域」、「学生」の 카테고리ごとに、それぞれの特性に合わせ、参加者の関心を高めるような会議運営や検討事項の設定が行われているか。</li><li>・参加者が意見を述べるための前提知識の提供は、十分な内容で、かつ、分かりやすい方法で行われる見込みがあるか（例：山梨県の統計データ、子育て支援情報等をイラストや写真を交えて紹介するなど）</li><li>・参加者が積極的に意見を述べ（発散）、その上で、グループごとの総意を的確にまとめる（収束）ことができるような、充実した議論を導く運営上の工夫が見られるか。</li><li>・ワークショップ終了後に参加者が納得感や充実感を得られ、後の行動変容につなげられるような工夫が見られるか。</li><li>・意見の集約、内容の検討がスムーズに行えるような運営が実施できるか。</li></ul>	5点（評価点）×7 = 35点
	分析について	⑥	<ul style="list-style-type: none"><li>・ワークショップにおける議論を分析し、①県民の問題意識や課題感、②実施前と実施後における参加者の意識変化の在り方を抽出して県に適切に報告できる見込みがあるか。</li><li>・また、「地域」、「職域」、「学生」の 카테고리ごとに、課題解決に向</li></ul>	5点（評価点）×5 = 25点

(別紙)

			けて県がとるべき方向性について適切な提案が行える見込みがあるか。 ・議論した内容を分かりやすくまとめることができるか。 ・議論の結果をもとに、人口減少問題の認識や課題解決策等について分析ができるか。 ・分析手法は効果的なものか。	
	地域で発信力のある者等の活用について	⑦	・別途育成する「地域で発信力のある者等」をワークショップにおいて有効に活用する方策の提案があるか。	5点(評価点)×1 = 5点

[ 審査点 合計95点 ]

**評価の基準**

内容点の各評価項目の評価点は、5点満点(最高得点5点、最低得点0点)とする。